

やまなし自然首都圏構想研究会 二拠点居住推進部会

第1回ワーケーションワーキンググループ概要

1. 日時

令和2年10月23日（金） 12:30～14:00

2. 場所

山梨県防災新館401会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者

（座長）丸山裕貴

（委員）佐藤優、田中敦、中澤大、田中佐記子、土屋正和、望月昌也、朝比奈伸次（オブザーバー）大川正勝、北辻巧多郎、小林宏至

※五十音順（市町村は建制順）、敬称略

（県）リニア交通局 地域創生・人口対策課長、森林環境部 森林環境総務課長、産業労働部 労政雇用課長、観光文化部 観光資源課総括課長補佐、農政部 担い手・農地対策課長、リニア未来創造・推進課長（事務局）

4. 主な意見（意見交換テーマ：ワーケーションの推進について）

①本県としてどのようなワーケーションを推進すべきか

- ・ どこをターゲットにするのか検討が必要。
- ・ ワケーションの種類のうち、ⅠとⅡは、個人事業主に近い個人はマーケットになりうる。Ⅲは中間、Ⅳは企業にアプローチすべき。
- ・ 企業へのアプローチを重点的にすべき地域もある。
- ・ いかにしてターゲットをしっかりと絞り込んで取組を進めるかが非常に重要。
- ・ 明確なコンセプトを持って、アピールすることが重要。
- ・ オフサイトミーティングは、今後、非常に重要な取り組みになる可能性。

②県、市町村、各民間事業者がすべきこと、果たすべき役割とは

- ・ 効果的なブランディング。
- ・ 都市部の自治体と連携したプロモーションの展開。
- ・ オンライン会議等に対応した快適なワークスペースの確保。
- ・ 本県の強み（富士山等の豊かな自然、ワインや水等の食関連資源、東京からの近さ）を活かしたプログラムの造成。
- ・ 山梨でワーケーションをする気にさせる地域ならではのプロジェクトづくり。
- ・ 地域として多様なワーケーションスタイルを受け入れる機運の醸成。
- ・ 二次交通の充実。